

和光市長 松本武洋様
和光市教育委員会教育長
戸部恵一様

原発といのちを考える会WAN
会長 鈴木清雄

和秘第 96 号回答に対するご確認について

去る 12 月 1 日付けにて先般要望書に対するご丁寧なご回答を頂有難うございました。しかし、未だ充分理解できないところがあり、お忙しいと存じますがご回答いただきたくよろしくお願ひします。

1. 小中学校児童生徒が学校給食で摂取した放射性物質の総量は、小学生で 983.1Bq、中学生で 1480Bq、これでよろしいでしょうか。

ご回答ではセシウム 134 とセシウム 137 を限界値に掛合わせ合計し、更に 5 年間弱（平成 24 年 1 月から平成 28 年 11 月）を総計して mSv の単位で出されています。それを単純に Bq に換算するのは難しいのですが、ICRP の示している係数から逆算するとこのような数字になります。

$$0.009831\text{mSv} \div 0.00001(\text{ICRP}) = 983.1\text{Bq}$$

$$0.01480\text{mSv} \div 0.00001(\text{ICRP}) = 1480\text{Bq}$$

ベクレル (Bq) とシーベルト (Sv) の換算例 (成人)

- ① 100Bq/kg の放射性セシウム 134 が検出された食物を摂取した人体への影響

$$100 \times 1.9 \times 10^{-5} = 0.0019\text{mSv}$$

- ② 100Bq/kg の放射性セシウム 137 が検出された食物を摂取した人体への影響

$$100 \times 1.3 \times 10^{-5} = 0.0013\text{mSv}$$

これが子どもたちが実際に摂取した放射線の Bq 数の最大値と考えますがよろしいでしょうか。

1 年間の自然放射線被曝量は 2.4mSv との事ですが食品からは 0.29mSv ですので、この数値をどう考えるかは個人に委ねるとして考えるデータにはなると思ひます。

2. なお、現在給食食材の放射線測定にいくらかかっているでしょうか。出

来れば当初から現在までの費用についてご提示ください。

3. 給食食材産地の事前公開について
提供の直前まで産地が確定しないとの事ですが、変更があれば次回の献立表で明記していただければよろしいと思います。私どもの団体だけでなく多くの保護者と情報を共有したいきたいと存じますので、事前公開を是非ともよろしくお願いします。

4. 校庭の放射線汚染土壌の埋設情報について
まず、4校（第四小、白子小、広沢小、第二中）の埋設した場所の状況確認は誰がどのようになされているのでしょうか。またその記録はされていますか。
情報を公開することで不安を煽らないよう注意されていることは分かるのですが保護者が知っておくことも大事ではないでしょうか。年1回はPTA便り等で広報していただいた方が安心に繋がるとは思いますがいかがでしょうか。

書面でご回答いただいた後、私ども会員と直接会談していただきたく願います。

以上